



平成 21 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 MUTOH ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 佐藤 敏明
(コード番号 7999 東証第1部)
問合せ先 経営管理本部 部長 阿部 利彦
(TEL . 03 - 5740 - 8700)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 22 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,200	100	100	200	4.35 円
今回修正予想 (B)	10,513	3	35	250	5.43 円
増減額 (B - A)	313	97	65	50	-
増減率 (%)	3.1 %	-	-	-	-
(ご参考) 前期第2四半期実績	14,997	1,300	1,621	924	18.86 円

2. 修正の理由

当第2四半期における経済環境は、景気の回復基調は限定的であり、依然として厳しい状況にて推移してまいりました。

このような情勢下において、当社グループは積極的な販売活動と経費の削減対策等を展開し、売上高、営業利益、経常利益では予想値を上回りましたが、繰延税金資産の見直し等により、四半期純利益では予想値を下回る見込みとなりました。この結果を踏まえて、業績予想を修正いたします。

売上高では、北米にて当初計画を若干上回る実績となったことと為替特にユーロ通貨が予想値に比べ円安に推移したことにより、国内等の若干の減少分を補って、前回予想を僅かに上回る見込みとなりました。

損益面に関しては、継続して製品のコストダウンや販売費および一般管理費の削減等を実施しており、販売価格低下による利益の減少分をカバーして、営業利益および経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。一方、四半期純利益では、不透明な経済環境下において、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果一部取崩しを行い、法人税等調整額に149百万円を計上したこと等により、予想値を下回る見込みとなりました。

3.平成 22 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

当連結会計年度におきましては、依然として経済環境の不透明感があるものの、米国や中国など各国の景気刺激策の効果も出始めてきていることから、今後の業績や景気への影響を注視する必要があります。

当社グループは、今後とも販売地域の拡大、新製品の開発、各種在庫の削減、製品のコストダウン、経費の削減等に継続的に取り組み、収益確保を図ってまいります。このような活動を踏まえ、平成21年5月15日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、変更はありません。

なお、当社は連結手続き上の為替換算方法を当期より従来の簡便法(期末日レート換算)から、原則法(期中平均レート換算)に変更いたしました。年度後半の為替レート(期中平均)につきましては、1米ドル=90円、1ユーロ=130円を想定しております。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上